

◆ 目黒区 ◆

# 中小企業の景況

平成28年度第4・四半期  
(平成29年1~3月)



## 目 次

1. 都内中小企業の景況	1
2. 目黒区内中小企業の景況（平成 29 年 1～3 月期）	2
(1) 今期の特徴点	2
(2) 今期の景況と来期の見通し	4
製造業	4
卸売業	8
小売業	11
サービス業	14
建設業	17
(3) 調査員のコメント	20
3. 日銀短観／東京都と目黒区の企業倒産動向（平成 29 年 3 月）	23
4. 特別調査「人手不足下における中小企業の人材活用策について」	26
5. 中小企業景況調査 比較表・転記表	29

## 調査の概要

1. 調査時期      平成 29 年 1 月～3 月期（四半期毎実施）
2. 調査方法      面接聴取調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	88	87
卸 売 業	28	27
小 売 業	48	46
サ ー ビ ス 業	55	53
建 設 業	36	34
合 計	255	247

調査実施機関    一般社団法人東京都信用金庫協会

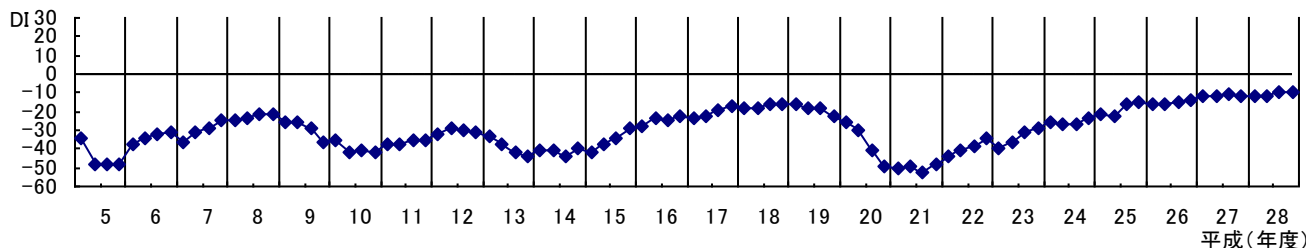
分析実施機関    株式会社東京商工リサーチ

# 1. 都内中小企業の景況（平成29年1～3月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

卸売業・サービス業、水面下ながらわずかに持ち直す。～建設業・不動産業は前期並の良好感が続く～

## 都内中小企業景況・6業種合計DI



業況判断 DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-9.3(前期は-9.9)と前期に比べ 0.6 ポイント改善した。業種別に見ると、卸売業・サービス業で水面下ながらわずかに改善し、建設業・不動産業は前期並の良好感が続いた。一方、製造業、小売業は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、製造業・卸売業・小売業・サービス業は水面下ながら改善すると予想している。

	前 期	今 期	増 減	来 期 予 想	今期との増減
製 造 業	-9.3	-9.2	0.1	-7.4	1.8
卸 売 業	-14.9	-12.7	2.2	-8.2	4.5
小 売 業	-24.8	-24.7	0.1	-22.7	2.0
サ ー ビ ス	-10.3	-8.4	1.9	-6.6	1.8
建 設 業	10.4	11.0	0.6	11.3	0.3
不 動 産 業	6.0	5.6	-0.4	4.5	-1.1
総 合	-9.9	-9.3	0.6	-7.4	1.9

### <製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。受注残はわずかに低迷し、売上額・収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格はやや上昇が強まった。

業種別に見ると、「精密機械」は前期並の良好感が続き、「輸送用機械」はやや軟調に推移し、「プラスチック」「電気機械」は前期同様変化がなかった。「食料品」「ゴム製品」「紙・紙加工品」「木材・家具」はわずかに厳しさが和らいだ。「建設用金属」「化学工業」は大きく悪化に転じ、「一般機械」「繊維・衣服」「印刷関連」「皮革関連」はやや深刻さを増し、「金属製品」「プレス・めっき」は前期同様の厳しさが続いた。来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・受注残・収益は水面下ながら持ち直すかと予想している。

### <卸売業>

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額は幾分持ち直し、収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は多少好転し、仕入価格は若干上昇が強まった。

業種別では、「化学製品」は大きくプラスに転じ、「機械器具」は前期同様変化なく、「鉱物・金属材料」「食料品・飲食品」は水面下ながら大幅に持ち直した。「繊維・衣服」はやや厳しさが和らぎ、「建築材料」は多少悪化が強まった。

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上額・収益は減少が一服するとみている。

### <小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は前期並の低迷が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は前期同様の高い水準が続いた。

業種別では、「スポーツ用品・玩具」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」「自転車・自動車」「繊維・衣服・身の回り品」「カメラ、時計・眼鏡」はやや深刻さを増し、「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」は大きく業況感が落込んだ。

来期の業況は、厳しさが和らぐと予想している。売上額・収益は持ち直すかとみている。

### <サービス業>

業況は前期に引続き水面下ながらわずかに改善した。売上額は前期並の低迷が続き、収益は水面下ながら若干改善した。価格面では、料金価格はほぼ横這いで推移し、材料価格は前期同様高い水準が続いた。

業種別に見ると、「娯楽」は水面下ながら大きく改善し、「情報サービス・調査・広告」「自動車整備・駐車場」はやや明るさが見えた。「洗濯・理容・美容」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くかとみている。売上額・収益はともに回復の兆しが見えると予想している。

### <建設業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・施工高・収益は前期同様の増加が続き、受注残はわずかに弱含んだ。価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格は幾分上昇を強めた。

業種別に見ると、「設備工事」は多少好調感が強まり、「総合工事」は前期並の良好感が続いた。一方、「職別工事」はわずかに好調感が縮小した。

来期の業況は今期並の良好感が続くかと予想している。売上額・受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くとみている。

### <不動産業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加が続いた。価格面では、販売価格・仕入価格ともにやや上昇が弱まった。業種別に見ると、「不動産代理・仲介」「建売・土地売買」は前期並の良好感が続いた。

来期の業況は、今期並の良好感が続くかとみている。売上額・収益は今期同様の増加が続くと予想している。

[注]

○D.I (Diffusion Index ディフュージョン インデックス の略)

D.I (ディーアイ) は増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差し引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○ (季調済) D.I・・・本調査における D.I は季調済 D.I を使用しています。

季調済とは、期ごとに季節的な変動を繰り返す D.I を過去 5 年間まで遡って季節的な変動を除去して加工した D.I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向をみる方法です。